

# 社団法人 日本ジュニアヨットクラブ連盟 平成19年度第1回通常総会議事録

日 時 平成19年6月13日（水）18時30分～20時00分  
場 所 (財)ブルーシーアンドグリーンランド財団 会議室  
東京都港区虎ノ門1-15-16 海洋船舶ビル

## 1. 定 足 数 の 確 認

出席会員19名、委任状51名、合計70名。従って正会員現在数88名の4分の3を超えて定款第28条（総会成立）並びに第45条（定款変更）の定足数に達しており、本総会の成立を確認した。

## 2. 開 会 の 挨 拶 佐藤 精知夫 副会長

石原会長が公務で多忙のため遅れているので、佐藤副会長が開会の挨拶を行った。

## 3. 会 長 挨 拶

その後石原会長が出席し挨拶を行った。

現在自民党幹事長代理で多忙のため、すっかり潮気がなくなりました。連盟の大会にもなかなか参加出来ませんが、今年の全国大会（国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会2007）は東京若洲で行われるのでどんな事が有ろうとも是非参加させていただきます。

安部総理の好きな言葉に「規範」があります。日本は海に囲まれた厳しい環境にある海洋国であり、その環境の中で「規範」を持った子供達が育つよう、クラブの指導者の皆様が頑張っておられます。私の役目は資金的なサポートを得られるように努力する事ことだと思えます。

本日の総会運営は佐藤副会長に一任したいと思いますので、会員の皆様の熱心な討議と今年のご活躍を期待します。

## 4. 来 賓 の 祝 辞

### (1) (財) B&G 財団、広渡英治専務理事

毎年総会会場として当センターを利用頂き感謝しております。

B & G財団も、日本の子供たちを育てることについては（社）日本ジュニアヨットクラブ連盟と同じ目的をもって仕事をしております。

プールでヨットをと言うイベントを財団の評議員でもある「小松一憲先生」の指導で全国10箇所で行い大変盛況でした。海洋性レクリエーションの普及に努めていますが、ヨット界の発展のため普及活動をされている皆様には大変頭が下がります。

### (2) (財)日本セーリング連盟、河野博文副会長

①川島侍従長からの話ですが、天皇陛下が皇太子の時、当時の（財）日本ヨット協会が「オリンピックヨレ」を寄贈、沼津御用邸に置いていた。その後葉山御用邸に移

されたが最近では余り乗られないので、ヨット関係者にご下賜したいとのことで、葉山マリーナに展示保存することになった。

②今年にはISAFの100周年とJASFの75周年なので、来る9月1～2日に世界中の海にヨットを浮かべる活動をする事になった。JASFも賛同し記念グッズも制作した。皆さんもイベント企画があれば、JSAFフラッグを提供する。

③ナショナルチームは現在ヨーロッパに遠征転戦中で、女子470チームは層が厚く4チームが接近し活躍している。男子は関選手が今一調子がまだである。山田が良い。

④オリンピック経験者などによるイベントを多く開催しようと思っているが、実業団や大学のヨット部員も減少し、JASFの会員もかなり減少しているので会員増に協力を頂きたい。

ヨットがより楽しいものとする普及活動をしたい。その為にジュニアのサポートを頑張りたい。

## 5. 議長選出

定款第26条により会長が議長を務めるところ、用務で退席の為、定款第14条第2項により、佐藤精知夫副会長が議長に選出された。

## 6. 議事録署名人選出

定款第30条による議事録署名人選出は議長一任の議決により、以下の2名が議長より推薦され全会一致で選出された。

近藤 哲弘 氏 (夢の島ヨットクラブ代表)

青山 義弘 氏 (葉山町ヨット協会ジュニアレーシングチーム代表代理)

## 7. 議案審議

### 1) 第一号議案 平成18年度事業報告(案)承認の件

伊藤専務理事より配布資料に沿って平成18年度事業報告(案)の説明を行った。

今年2月の通常総会時に中間事業報告で説明したように、新しい試みで、「2006三ツ矢サイダーカップ」を北海道小樽と宮城県閑上で行いました。他の大会も例年通り、春の日本少年少女オープンヨット大会を東地区の野尻湖と西地区の米子で開催、夏の全国大会(国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会2006)は石川県和倉で開催、秋には「ミキハウスカップ」を行い大変実りの多い年でした。

「ユースセーリング」も10月と3月の2回発行できました。

休会のクラブが増えて、正会員が少なくなってきており、現在は正会員が70名。昨年和倉大会の時に入会した「B&Gななお海洋クラブ」が、やはり子供が少なくなり休会しました。正会員が代表するクラブが70と言いますが、現況報告の連絡を頂いていないクラブが多く、実際には64か65だと思います。これに伴い公認指導員

も少なくなっているのが現状です。

その後、議長より第一号議案の承認を求めたところ、全会一致で承認可決された。

## 2) 第二号議案 平成18年度財務諸表(案)承認の件

伊藤専務理事より配布資料に沿って平成18年度財務諸表(案)について説明を行った。

今年度から公益法人の会計基準が変更になったので、「財務諸表」という形になりました。前年度までは、収支計算書と貸借対照表が中心でした。新しい会計基準では収支計算書は内部資料という位置付けですが、前年度までとの関係もあり、説明を収支計算書を中心に行いたいということで説明した。

議長より、監事に監査報告を求めたところ、石崎監事より、大房監事と一緒に6月4日に監査を行ったが、公益法人会計基準に従い公正妥当なものと認められる旨報告された。又、理事等役員の業務執行についても特別問題になることは無い旨報告された。

その後、議長より第二号議案の承認を求めたところ、全会一致で承認可決された。

## 3) 第三号議案 理事16名・監事2名選任承認の件

伊藤専務理事より理事及び監事の選任規程について説明し、選任候補について資料に沿って説明した。

理事候補は従来からの重任候補12名の他、新しい理事候補、野村 豪史氏(広報委員長)、長田美香子氏(JSAF推薦)、小山 利男氏(JSAF推薦)、中川 二郎氏(横浜ジュニアヨットクラブ代表)の4名の合計16名に、監事候補は従来からの重任候補2名となった。

その後、議長より第三号議案の承認を求めたところ、承認可決された。

議長より、ここで一旦総会を中断し選任された理事による臨時理事会の開催を求める提案を議場に諮ったところ全会一致で承認されたので、直ちに会議を臨時理事会として、理事16名(出席12名、欠席4名、理事現在数の3分の2以上の出席により成立)の互選により、伊藤雅宣理事が議長となり、会長、副会長、専務理事、常務理事の選任について諮ったところ、候補については議長の推薦に一任するとの動議が出され全員が賛成したので、伊藤理事より、「会長に石原伸晃氏、副会長に佐藤精地夫氏、専務理事に伊藤雅宣氏、常務理事に安井清氏と小野澤秀典氏」を推薦する案が説明され、全員の賛成により可決決定された。

臨時理事会伊藤議長より、以上により臨時理事会を閉会として総会を再開する旨宣告した。

佐藤精知夫副会長が再び総会議長席に着き総会の再開を宣告した。

議長より、伊藤専務理事に対し臨時理事会の結果について報告を求め、伊藤専務理事より、臨時理事会において理事の互選により、会長に石原伸晃、副会長に佐藤精知夫、専務理事に伊藤雅宣、常

務理事に安井清、小野澤秀典が選任された旨報告された。

4) 第四号議案 定款第2条変更承認の件（連盟事務所変更）

伊藤専務理事より配布資料に沿って連盟事務所変更について経緯を説明した。  
昨年4月、佐藤精知夫副会長の住所である「東京都杉並区」に変更する案で文部科学省に提出したところ実際に事務局として事務を行っている住所にするよう文部科学省の指導を頂いたので、「横須賀市佐島」にすることにした。

その後、議長より第四号議案の承認を求めたところ、全会一致で承認可決された。

議長は、以上をもって平成19年度第1回通常総会の議案の審議は全て終了したので午後7時30分、閉会を宣した。

8. 報告事項

- 1) 国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会 2006(和倉大会)の実施報告について  
昨年の大会開催地七尾市和倉のB&Gななお海洋クラブ、石川県セーリング連盟からは本日出席出来ないとの連絡を頂いたので、担当の小野理事より、昨年開催された当大会が無事成功裡に終了出来たと参加頂いたクラブへのお礼が述べられた。
- 2) 国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会 2007(東京大会)について  
東京都セーリング連盟、鈴木修理事長より、宿泊ホテルのパンフレット等により大会会場、宿泊施設などの準備状況の説明が行われた。  
小野理事より例年通りスポーツ振興基金助成の申請をした旨報告された。
- 3) 第27回日本少年少女オープンヨット大会（東日本地区大会）について：  
長野県ジュニアセーリング連盟代表小山利男氏が欠席なので、小松勇一理事より実施報告を行った。  
水面とレース会場は昨年と同じ野尻湖であり、参加選手数は昨年よりやや少なかったけれども風と天候に恵まれた良いレースとカレーパーティーによる良い交流会が出来たとの報告があった。
- 4) 第27回日本少年少女オープンヨット大会（西日本地区大会）について  
松山ジュニアヨットクラブ代表の大槻映幸氏がやはり欠席なので、内藤武夫理事より実施報告を行った。  
愛媛県新居浜市（マリンパーク新居浜）で開催したが、JSAF主催の佐賀での大会と日程が重複した為、シーホッパー級の参加が無くOP級のみであったことと、参加選手が例年より少なかったこと、又、風があまりなく苦勞したが4レース出来たので選手も納得したと思われるとの報告があった。

## 9. 閉会の挨拶

司会進行の吉村事務局長より以上で報告事項が終了したことが案内された。  
最後に、議長より閉会の挨拶があり、散会した。  
(午後8時終了)

上記の決議を明確にするため、議長及び議事録署名人は記名、押印する。

平成19年6月13日

議長

東京都杉並区本天沼3-23-2

佐藤精知夫 (印)

議事録署名人

東京都杉並区大宮2-14-1-106

近藤哲弘 (印)

(夢の島ヨットクラブ代表)

議事録署名人

神奈川県三浦郡葉山町一色1473-4

青山義弘 (印)

(葉山町ヨット協会ジュニアレーシングチーム代表代理)